


拡大法のトータルコーディネート

児童生徒にとっての拡大教科書の効果的な活用を目指して

広島大学 氏間和仁



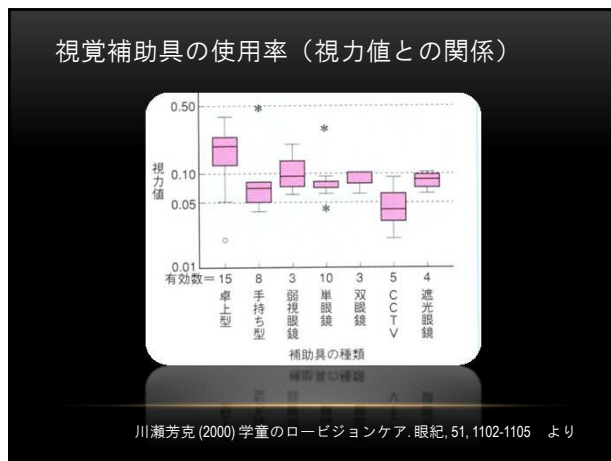
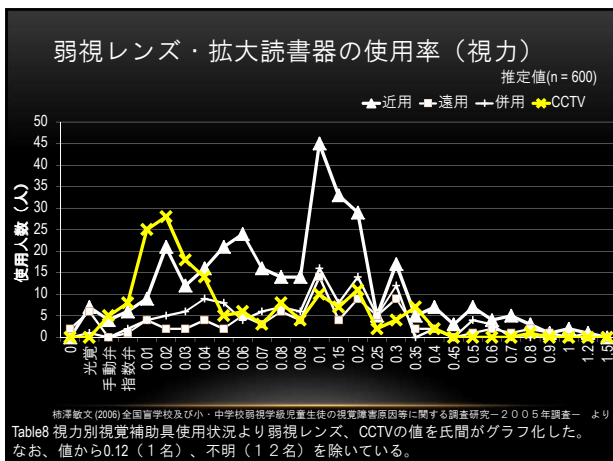
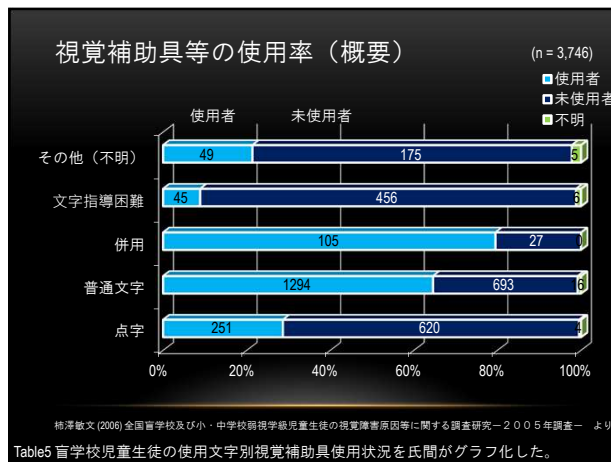
はじめに

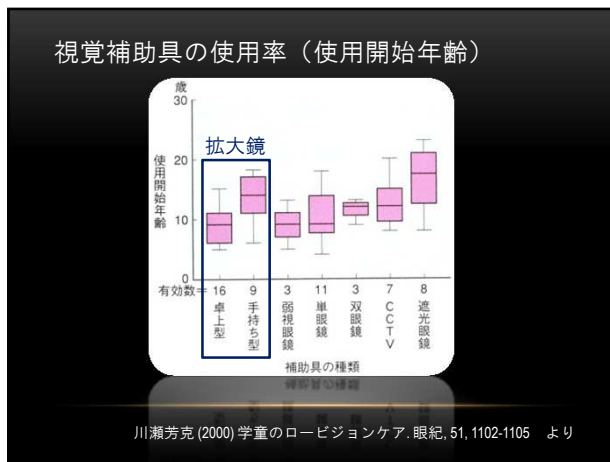
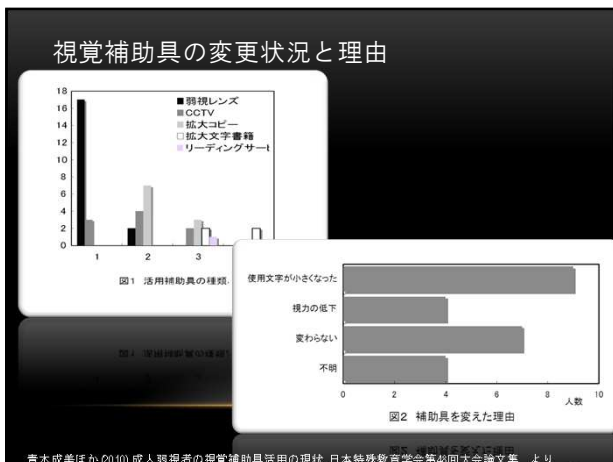
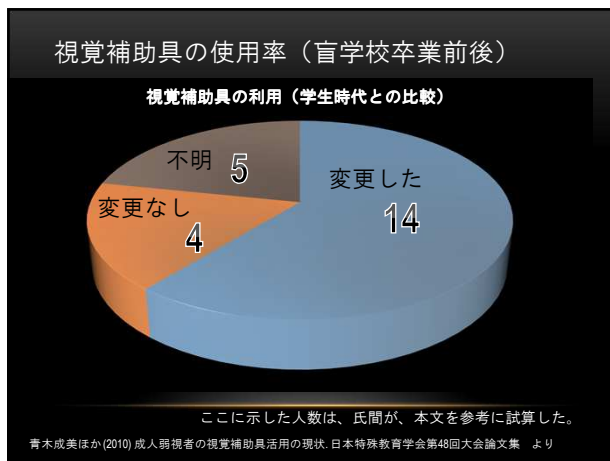
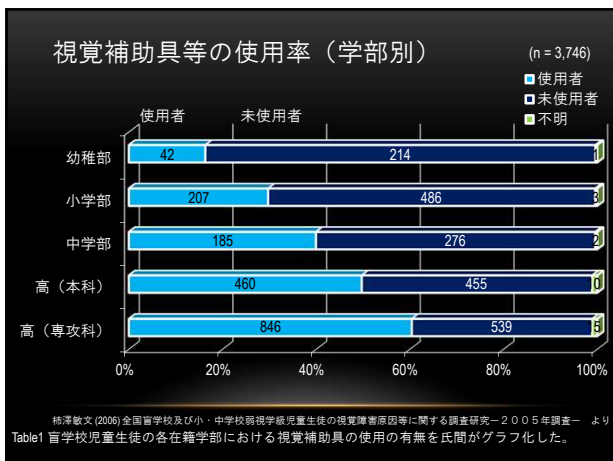
弱視者への指導

適切に用いられてこそ、その価値が発揮される。

ここで登場する言葉

弱視レンズ
拡大読書器 (CCTV)
視覚補助具
視覚補助具等





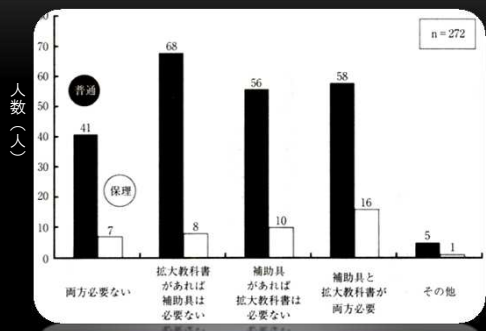
- ### まとめ（ライフステージと視覚補助具使用）
- 視力に応じた視覚補助具を使用
 - 学部が上がるのに伴って、視覚補助具使用者率が増加（2割弱→6割）
 - 使用開始年齢に応じて使用する視覚補助具が変化
 - 視覚特別支援学校卒業後、3分の2の人が視覚補助具を変更
 - 変更後、弱視レンズの使用頻度が最多に
 - その理由として、文字サイズの縮小への対応

近業時の拡大法の概要

視対象自体の拡大	接近	モニタに投影
拡大教科書や拡大コピー等、視対象自体を拡大する方法	視対象に眼を近づけて拡大、近点を越えて接近する際は拡大鏡を利用する方法	カメラで視対象を写して、加工し、モニタに映す方法
外的環境整備 (環境因子)	内的環境整備 (活動因子)	

近業：特定分野では、短視距離による作業のことを指して用いられる。

拡大教科書と視覚補助具（高等部）

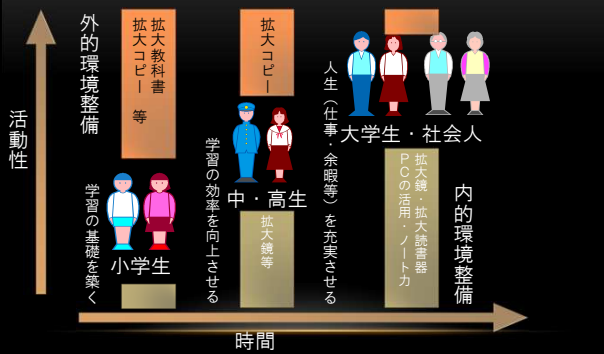


中野・山本・新井(2010) 高等学校段階における弱視生使用拡大教科書の在り方(1). 弱視教育, 48(1), 1-11.

まとめ（拡大法と社会自立）

- 拡大法には外的環境整備（拡大教科書等）と内的環境整備（拡大鏡等）がある。
- 用いられる拡大法（その組み合わせ）は、個人の状態、ニーズ等によって検討される必要がある。
- 現在の社会への参加を見据えたとき、内的環境整備の構築は重要ではないだろうか。

拡大法のトータルコーディネート的重要性



時間の経過に応じて活動性を安定させるためには、拡大法に関する外的環境整備と内的環境整備の貢献の度合いを調節する必要があるのではないかと。

具体策1（評価の実施）

- 視覚特別支援学校等の介入
 - センターの機能を発揮
 - 長期目標、次回評価予定、個別の教育支援計画
- 行動評価
 - 教育的評価は行動に基づく必要性
- 内的環境整備
 - 弱視レンズ、CCTV等の将来を見据えた練習

具体策2（個別の教育支援計画の活用）

支援のトータルコーディネートを実現するために、「個別の教育支援計画」の活用を！
「個別の教育支援計画」は通常の小学校・中学校でも必要に応じて作成することになっている。

個別の教育支援計画

ご存じない方には以下の文献を紹介しよう！

19文科初第125号 平成19年4月1日
特別支援教育の推進について（通知）
文部科学省初等中等教育局長 銭谷 真美 発

「小学校学習指導要領」
第1章総則 → 第4 指導計画の作成等・・・ →

私たちが積極的に関わりたい

例えば こんなことに取り組んでいます。

中野研究室@慶応義塾大学
小田研究室@東京女子大学
氏間研究室@福岡教育大学
の共同企画

MNREAD[®] ACUITY CHART J FUE-5

1年字仕様
2年字仕様
3年字仕様
4年字仕様
5年字仕様

例えば、こんなことに取り組んでいます。

身近な拡大法はないものだろうか...?

効率的に評価できないだろうか...?

ぼくは短い旅にでて港や駅を使うので注意して転ばないようにする

ツールは整ってきそうなので...

- 評価に必要なツールを整備する。
- 評価の手続きを整備する。
- 評価の言葉を整理する。
- それらのツール・言葉・手続きを利用した実践の蓄積と評価、それに基づく改善
- それらの普及（研修）

最後に

拡大鏡
拡大教科書
拡大読書器

長期目標を見据えたトータルコーディネート
弱視者への指導